

ベッセルスポーツクラブ

BESSERUNG

第50号

発行日 令和03年10月04日

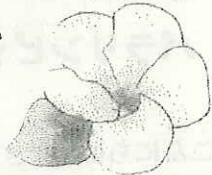
発行者 河井 恵美



◇ 副会長挨拶

原 理恵

4回目の緊急事態宣言が発令され、この夏も不便、不安を感じながら過ごす日々が続きました。そのような中、ベッセル各部は感染予防をしながら活動を続けています。気をつけながら出来ることをして行く前向きな考えは、各部共通しているようです。外出の機会が減り、人との関わりが希薄になっているこの時期に、いつものベッセルで顔を合わせ、マスク越しですが声を掛け合えることを嬉しく思います。このような時にもベッセルの活動を続けられることに感謝し、これからも引き続き活動できるよう願っています。



◇◇◇ 自転車事故と保険処理手続き ◇◇◇

スポーツ安全保険と賠償責任保険について

横山 修

永く続くコロナ禍でもリスクに注意しながらベッセルの活動を続けられるのは嬉しい事です。

ところで私は今春テニスコートへ向かう途中、カーブしている坂道を降ってきた自転車に接触され、相手方の女子高生に怪我をさせてしまいました。怪我をさせると賠償責任を負います。管轄警官の立ちあい、互いの過失割合、治療費、修理代、示談書、賠償保険請求手続き、自動車事故と同様いろいろやらねばならぬことが多いです。ベッセルが団体加入しているスポーツ安全保険は集合場所への往復路の事故も含まれているので初めて適用をお願いしました。適用範囲、補償内容など『スポーツ安全保険』（加入区分 団体B）ネット検索してみてください。

今回の接触事故ではこちらの過失割合が小さかったのですが、相手方怪我への賠償責任は生じます。こちらは怪我もなく、相手方の怪我も軽傷とわかり、後遺症の心配もなく一安心しました。相手方の治療費と修理代は責任範囲の賠償額に保険会社の基準慰謝料を含めて支払いがなされ無事終わりました。

今回の事故はスポーツ安全保険でスムーズに運びましたが、ここで気づいた事は、私が加入しているその他の保険（損害保険、医療保険、生命保険、傷害保険）いずれにも賠償保険が含まれていなかったという事でした。即座に加入している損害保険に補償特約を付け加え、傷害保険も賠償特約のついているものに切り替えました。丁度今回の事故前に、新聞で中学生が歩道を自転車で走行中高齢者に後遺症を伴う大怪我をさせ何千万円という賠償責任が生じた記事を読んだばかりした。

地震、風水害、いろいろな予期しない災害のための保険と併せて、身の回りに何時でも起こりうる交通事故、特に自転車事故による賠償特約がついているかどうか見直してみましよう。

〇〇〇 活動報告 〇〇〇

◇ 「みたか de ボッチャ大会」に参加して

國澤 嘉代子

7月10日にボッチャベース東京（三鷹市を中心にボッチャの普及を行っている団体です）主催の「みたか de ボッチャ大会」が開かれました。募集チーム数は8チームで、ベッセルからは河井会長、目黒さん、國澤の3人で1チームを作って参加して来ました。コンパクトな大会でしたが、日頃から練習しているチームが殆どで、白熱した試合が繰り広げられました。結果は第3位、このメンバーの中でよく健闘したと満足して帰路につきました。

ベッセルもボッチャの普及に関わっているので、これからボッチャベースさんとお互いのよい点を学び合い、協力関係を築いていけたらと考えています。



◇ パラリンピック聖火点火式に参加

＜聖火ランナーを終えて＞

パドルテニス部

鈴木 幹太

こんにちは、吹き矢部に入会した鈴木幹太です。先般、三鷹代表及びベッセル代表として聖火ランナーに参加してまいりましたので、ご報告申し上げます。

8/23(月)11時に駒沢公園へ集合し、事務局から簡単なオリエンテーションを聞いた後、専用バスに乗って世田谷の砧公園に行きました。トーチは1.2kgと結構重く、抱きかかえながらスタート地点へ。河村三鷹市長のご挨拶の後、市長自ら私達のトーチに火を灯していただきました。ベッセルの7人で一斉に歩き出し、次の方たちに聖火をリレーして、河井会長や河村市長と記念写真を撮ってこれでお役御免と思いきや、帰ってきた駒沢公園でNHKのインタビューを受ける羽目になりました。これは想定外でトークはしどろもどろになりつつ何とかこなし、やっと終了となりました。まさか、一連の映像がNHKにアーカイブされているとはつゆ知らず。

おかげで、家族や友人へ自慢することが出来て良かったですし、一生の記念になりました。ありがとうございました。代表として参加させていただき深く感謝申し上げます。





〇〇〇 各部の見学・体験のお誘い 〇〇〇

総合型地域スポーツクラブであるベッセルスポーツクラブの会員は、クラブ内の多種のスポーツを気軽に楽しむことができます。今回、各部の活動の見学・体験の案内を特集しました。

テニス部

寺沢 弘治

各人のそれぞれ異なる体力、時間的余裕を前提に、野外で楽しくテニスで身体を動かす。そんなテニス部です。気軽に見学・体験にお出で下さい。他部からの参加メンバーも何人かおられます。

活動日/ 毎週火曜日 12時～14時 毎週金曜日 10時～12時

場所/ 新川コート (東八沿い二木ゴルフの裏 / 三鷹中等学校(高校)との間)

連絡先/ 寺沢 (080-5419-6136)

見学にはテニス場内を傷めない靴、体験者はテニスシューズが必要です。なお活動日時の変更、コート使用人数の制限(コロナ禍対策)があるほか、見学・体験にはコート2面利用時が良いと思いますので、必ず事前に連絡下さい。

ソフトバレーボール部

岡村 雅美

バレーボールというと、痛くて厳しいというイメージを持たれる方も多いと思いますが、ソフトバレーボールは生涯スポーツとして幅広い世代が共に楽しめるスポーツです。やわらかいゴムボールを使用しますので初心者の方でも気軽に初められると思います。練習も毎回パス等の基礎練習から始め、後半は試合形式での練習となります。

和気あいあいと楽しんで活動しておりますので、是非一度遊びに来て下さい。もちろん見学だけでも大歓迎です。

活動日…毎週火曜日(月3回程度)

場所…SUBARU 総合スポーツセンター B2 メインアリーナ or 新川中原コミュニティセンター

持ち物…体育館シューズ(運動しやすい物) あれば膝サポーター

部長若井まで事前連絡をお願いします

yuihaya0917@gmail.com

グラウンド・ゴルフ部

牧野 紀子

グラウンドゴルフ部案内

日時 毎週木曜日 9:00～ (雨天中止)

場所 牟礼小判塚青少年広場 ... 大きなイチョウが木陰を作り、銀杏がこぼれ 秋には金色の葉が舞落ちる癒される空間です

服装 そのままで大丈夫です

用具 貸し出せる用具を用意しています。

技術の差より偶然が作用する要素が大きいです。はじめての人でも充分プレーして楽しめるスポーツです。

いつでも参加歓迎です。

お問い合わせ先・渡会 08011037112

フラダンス・ロカヒ

馬場 利恵

① ロカヒの活動について

「ロカヒ」とはハワイ語で調和、絆、友愛などの意味です。

フラが大好きな仲間（50代～90代）がお互いを思いやり、支え合って楽しくレッスンをしています。

ただ曲に合わせて踊るのではなく、ハワイ語やハワイの文化などを学びながら、曲の意味をしっかりと理解して、ストーリーテラーとして表現しています。

「ハワイ・アロハ」の曲ではハワイ語で歌いながら踊ることに、ウクレレ演奏にもチャレンジしました。

レッスンはストレッチ、基本ステップの後、曲に合わせて踊ります。

フラが初めての方でも、ハワイを感じながら楽しく踊ることが出来ます。

今年の4月から先生が変わりました。

② 先生の紹介

ALOHA!! はじめまして、岡部真実です。

4月よりロカヒを担当させて頂いています。10代の時にHULAの虜になり気づいたら今日まで舞っている日々です。

“日々学び”ロカヒのみんなと「新しい発見・新しい挑戦」ができるように共にImua（イムア：前進）していきたいと思います。毎週、ロカヒのみなさんと、これから出逢うみなさんと、なにげない日々に♥ALOHA♥を感じてもらえたらと思います。

よろしくお願いします。*MAHALO*

MAMI

③ 活動日

第1, 2, 3の火曜日（13:00～15:00）

④ 場所

SUBARU 総合スポーツセンター

⑤ 見学、体験レッスンについて

現在コロナ対策により室内の人数制限があります。

制限が解除されるまで残念ですがロカヒでは見学、体験レッスンを行っていません。

詳しくはお問い合わせください。

⑥ 問い合わせ先

馬場 080 (1357) 1150

パドルテニス部

石井 美江

パドルテニス部は、金曜日の夕方と日曜日の午後に、高山小学校の体育館で練習しています。

指導者資格を持った部員が考えた練習メニューにそって、基礎演習をした後、男女混合でゲームを楽しんでいます。室内の競技なので、天候に左右されずに練習ができ、いい汗をかけます。

初めての方もテニスの経験のある方も楽しめます。ラケットの握り方から打ち方ゲームの進め方までレベルに合わせて指導しますので初めての方もテニスの経験のある方も楽しめます。貸し出しラケットもありますので、興味のある方はぜひ、室内履きを持参で、練習日に遊びに来てください。

問い合わせ先 石井 (49-5182)

ハワイアンフラ・ラウアエ

河内 啓子

ラウアエ 見学のご案内

私達ラウアエは、総勢14人で元気に楽しく賑やかにフラの練習に励んでいます。ハワイの音楽を聴きながら体を動かすのはとても心地よく、心身ともにリフレッシュできます。

初心者の方、少しでも興味のある方、ぜひラウアエに見学にきませんか？

一緒に楽しく踊りましょう！！

練習日 月3回 木曜日 午前10:00～11:30

場所 SUBARU 総合スポーツセンター小体育室または生涯学習センター学習室

連絡先 蛭澤 090-4930-9021

ヨガ部

竹内 久

ヨガは呼吸をコントロールしながら心身の鍛錬(?)をします。レッスンは黒沢先生の楽しいトークと実践に沿って和気あいあいと進められます。月三回の実施ですが、日常を離れた時間を見直す良い機会にもなりますし、またそのポーズを家庭に持ち帰って体調のコントロールをすることもできます。一度参加してみたいかがですか。

活動日 : 金曜日、午後3時～午後4時半

活動場所 : SUBARU 総合スポーツセンター

準備するもの: 飲み物。但し、ヨガマットは用意します。

問い合わせ先: 鈴木 Email: toshi_binb1x@gmail.com

Tel. : 090-1506-0203

健康体操部

山城 八重子

健康体操部は、阿久津実穂先生の指導のもとテニスボールを使って筋膜のリリースとストレッチをする事によって怪我をしにくい身体づくりと歪みの解消を目指しています。

とてもステキな実穂先生の見本をみながら自分の身体と向き合っています(笑)

初めての方には先生が丁寧にボールの使い方を指導して下さいます。

是非、体験しに来てください。

活動日 木曜日 午後1時15分～2時45分

場所 SUBARU 総合スポーツセンター

準備する物 動きやすい服装、飲み物、汗拭きタオル

事前連絡要 連絡先 0422-49-0328 山城 八重子

吹矢部

目黒 直美

吹矢部は令和3年10月26日から11月16日10時～12時まで毎火曜日全4回、吹矢教室を開催します。

会場: 10月26日 SUBARU 総合スポーツセンター小体育室、11月2,9,16日 弓道場です。吹矢は、年齢を問わず、吹矢式呼吸法を取り入れた健康を目的としたスポーツです。基本動作は「礼に始まり礼に終わる」の一連の動作です。これにより深い呼吸と集中力を高めます。

皆さんも一度してください。

教室参加連絡先: Fax90-3669 (有宗)

問い合わせ先: 080-3492-5363 (目黒)

◇◇ ベッセル行事のお知らせ ◇◇◇

😊 吹き矢教室 😊

10月26日から火曜日午前10時から12時全4回の予定で市民対象のスポーツ吹き矢教室の開催が予定されています。皆様、お友達を誘いあわせのうえ、ぜひ参加をお願いします。

(問合せ先
080-3492-5363 目黒)

😊 室内グラウンド・ゴルフ大会 😊

12月11日(土) SUBARU 総合スポーツセンタにて市民対象の大会を開催します。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひ参加をお願いします。

(問合せ先 080-3492-5363 目黒)

😊 パドルテニス大会 😊

11月6日(土) SUBARU 総合スポーツセンタにてパドルテニス協会の大会が開催されます。パドルテニス部員が多数協力しています。午前の体験会は無料です。皆様の参加をお願いします。

😊 新人歓迎会・忘年会 😊

12月17日(金) 13:30~15:30 さんさん館で開催します。新人紹介、フラの披露等があります。飲み物等がありますが、アルコール飲料、食事無し、参加費100円です。皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

😊 第14回ベッセルフェスト 😊

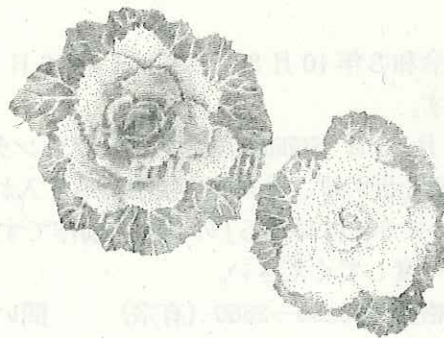
令和4年1月23日(日)10時より SUBARU 総合スポーツセンタにて第14回ベッセルフェストを開催します。詳細については追って連絡します。皆様、お友達を誘いあわせのうえ、ぜひ参加下さい。

😊 フラダンスフェスティバル 😊

令和4年2月17日(木)12:30~15:30に三鷹市生涯学習センター4階ホールにて開催のフラダンスフェスティバルにフラダンス・ロカヒとハワイアンフラ・ラウアエが参加します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

😊 冬期活動 😊

コロナ禍の影響を受け、10月以降に行事が立て込みましたので、今年度は中止と致します。



◇◇◇ ベッセルスポーツコラム ◇◇◇



2020 東京オリンピック・パラリンピックを考える

～たかがスポーツ・されどスポーツ～

オリンピックもパラリンピックも終わり、コロナの患者数も減少傾向に転じ、少し落ち着いてきた感じもするが、この夏の数か月は何だったのだろうか。

「オリ・パラを開催するか、しないか」マスコミも含めて、けたたましく様々な意見が飛び交った。しかしなんの根拠もないまま、安心・安全な大会を開くという既定路線で結局、無理やり大会は開催されてしまった。開催されてしまえば、世界最高の競技と日本の金メダル獲得に沸き、パラアスリートのパフォーマンスに感激して、医療現場の逼迫した状況を横目で見ながらも「まあ良かったんじゃない」という所で誰もその総括をきっちりとすることなく、現在この日々が過ぎている。

パラリンピックの聖火ランナーも務めたベッセルのみなさんは、スポーツを愛する一市民として、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催都市東京の都民として、どのようにこのオリ・パラの開催を総括するのだろうか。

オリンピックもパラリンピックも競技はやらないよりはやった方がよかったに決まっている。それは子どもたちの運動会や修学旅行もやらないよりやった方がいいのと同じである。競技にだけ着目するのではなく、国内あるいは東京のコロナ感染状況を踏まえながら再度考えてみたい。「感染爆発とオリンピックの開催との因果関係はない」あるいは「証明されていない」と開催した人たちはいう。確かに解明されていない。しかしそれは子どもたちの運動会や修学旅行も同じである。飲食店の時短営業やアルコールの提供の有無も同様に証明はされていない。その中でなぜあんなにオリンピックの開催に固執したのか。

この問題において「経済を優先させるのか、命を優先させるのか」という議論設定があった。命という設定に無理があるが「命を優先させる」ということを「感染者数の増加を抑制して命をできる限り守る」というように考えてみよう。この枠組みでとらえるなら、「オリンピックはバブル方式で感染者を増やしません」と言うてはいたが、結果的には感染者を爆発的に増やし、経済を優先してしまったことになる。身体文化としてのスポーツは本来命との結びつき、命の輝きとの共存がふさわしかった。しかし、今回は間違いなく経済が優先され経済原理で動いてしまった。勿論アスリート達のパフォーマンスに見られる命の輝きは素晴らしいものがあつた。しかしその裏で感染しながら病院にも入れず家庭での不安な療養を強いられ命の危険にさらされた人達や医療に従事している人たちの苦闘はどのように考えられるのであろうか。

本来スポーツは遊びである。命をかけてまでやるものでもないし、やらせるものでもない。自分の意思でやりたければやるし、やめたければやめられなければならない。「たかがスポーツ」なのである。国民の命・安心安全を脅かしてまでやるものではない。日々オリンピック・パラリンピックのために精進してきたアスリートにとってはどうしてもやりたい大会であることもわかる。しかし、危ないとなれば撤退することも学ばなければならない。山登りや探検と同じである。やめる勇気。「たかがスポーツされどスポーツ」なのである。

しかし、ここまで巨大化し、メガ・イベントとなってしまったオリンピックやパラリンピックは一体誰が動かしているのだろうか。アスリート一人一人が、そして開催都市の主権者である我々一人一人が主体的にこの問題に対峙しなければならなかったのにその時期を逸してしまったように思う。せめて反省だけはしっかりしておきたい。そしてそれを今回のオリンピックのレガシーとしたい。

神奈川大学講師 牧野 紀子

